

# ★神戸の集いから

★創立40周年を迎えた

行吉学園

10月22日、神戸女子大学、

同短期大学などで女子教育

に貢献してきた行吉学園

40周年を祝って記念式典が

神戸国際会館で開かれた。

(行吉哉女理事長)の創立

行吉理事長のあいさつの後、小笠原副知事らが祝辞

関係者多数に感謝状や表彰

状が贈られた。



喜びの行吉理事長ら関係者



テレス氏を囲んで

10月3~8日、神戸で

セルジオ・テレスさんが、

参事官として着任6カ月の

金婚式を迎えた訳。

司会は斎藤秀夫さん。

構

崎近代美術館長は「山本通

で生まれ育った私にとって

は風景が変わった今も懐し

く、トンプソン邸は身近な

想い出だ。神戸ではなくて

はならぬ存在。米寿まで頑

張って下さい」とメッセージ

。よさこい節が飛び出す

賑やかな会となつた。

★ヤマギワの「あかり展」

丹波焼市野弘之さんの陶芸を使つたヤマギワオリジ

ナーレの藤谷明正、鈴木照

三、前店長の斎藤守さんら

が集まつて、あかりと陶芸

との素晴らしい調和を楽し

んだ。

ヤマギワの安藤店長はこ

れからも工芸を照明に生か

したオリジナルスタンドを

作つていきたい、と新しい

照明文化に意欲的だつた。

い大声はこの日一段と高く  
“いごつそと異人館”的  
関係は50年間続き、神戸を  
愛する意気ますます盛ん。  
とき大人も共産党兵庫支部  
の名譽顧問として活躍され  
金婚式を迎えた訳。



市野さんを囲んで

ナルスター  
ンド展に

先立つて  
オープニ

ングペー

ティーが

ヤマギワ

神戸店で

オーブニ

△その51△

宝塚—しるべ岩—蓬萊峠—座頭谷—棚越新道—塩尾寺—宝塚

・六甲山100コース

# 伝説の谷と心象風景

今林 宏行 ヘレコード評論家▽



蓬萊峠入口にて筆者

バスも出ているのだが、待ち時間が惜しくて、歩いてしまった。ようやくしるべ岩のバス停まで来た頃、ちょうど乗るはずだったバスが来たのだから、何が惜しいのか、よく判らないが……。

このバス通りに沿って、碎石場が多いせいか、ダンプが我がもの顔で、飛ばして行くのには肝を冷される。こうして、伝説のある山々が切り崩され、いよいよ見る影もなくなってしまっているのには、ひどく寂しい思いがした。

しかし、そうやって自然を破壊しているのは私を含めた、我々自身なのだ。自然を愛するかたわら、我々自身が自然破壊に手を貸している、あるいは、そうせざるを得ないことを認めなければならないまい。

さて、しるべ岩から河原におり、川に沿って十分ほど上流に向うと奇怪な風景が、ひらけて来る。そこが蓬萊峠である。

連なる尖峰の群に、軽い目まいを覚える。異様な景観が見る者を圧倒する。

驚きと、興奮で、一小時も過ごした。後髪を引かれ歩く時は、無理矢理に友人を引っぱり込むのが我が家の一慣例になっている。本日の犠牲者は、日本マンドリン界の第一人者、兼井謙三氏。犠牲者というには、あまりにこやかで、山歩きもまんざらではないらしい。

宝塚から一時間ほど歩くと、本日最初の目的地である蓬萊峠への分岐点である、しるべ岩に着く。宝塚駅から

呼んでいたことだけは憶えている。その頃の私はきっと、いつの日にか彼のように星が見えたと、信じていたものだった。そんな妙に感傷的な気分になったのも、私ばかりのせいではないはずだ。このあたりに、多くの伝説が残されているのも成程と思えるほど、人を魅きつける何かがある。蓬萊峠から、もと来た河原を十分ほど下ると右手に谷が見えて来る。

ここから座頭谷になる。座頭谷のいわれは、江戸時代、ある秋の夕ぐれ、京から来た座頭が、有馬へ行く途中、



蓬萊峠にて同行の条井さん（左）と今林夫人



この谷に迷い込み、行き倒れてしまつた、という伝説だ。それ以来、この谷を座頭谷と呼んだという。そんな話をすると、妻曰く「昔のけわしい山道を、目の見えない人が、しかも夜歩くなんで……」それを聞いていた条井氏が一言、「座頭には夜も昼も同じだろ？」食事しながらの会話。成程と思いつながら、吹き出してしまつた。その座頭谷奥からは一気に棚越新道まで、急な山道を昇ることになる。

この山道はなかなか本格的で、山の気分を満喫させてくれる。条井氏はしきりに「いいなあ」との連発。思わず笑ってしまった。

その間四十分程だが、見る見る高度を上げ、木立ちの間から時折り山並が見えるたびに視野が広がつて行くのは、たとえようもないほど素晴らしい。しかし、ここまで来ると、流石に、肌寒く、じつとしていると、鳥肌が立つ。棚越新道から、東六甲縦走路を塩尾寺へ抜ける。本日のゴール、宝塚まで、あと一息だ。

六甲山人工スキー場

# 白い雪の世界に遊ぶ

三木 靖子△神戸女学院高等学部講師▽

・六甲山100コス



筆者(右)と塚本さん

い」という意欲から遠ざかること久しい私など、足許にも及ばない見上げた根性だと、大いに感心する。

その後も休憩中の塚本先生に伺つたのだが、一シリーズに四十日通いつめた人や、遠くは山口県から来る方があるというお話を、ド肝を抜かれる。(我が国のレジヤーもとうとうここ迄来たというべきか、はたまた何とも日本の光景だというべきか!) 全般に受講生は基礎体力のない人が多く、中には遊び半分の人も居るので、そちら辺にジレンマがあるのだが、とにかくどこへ行っても大丈夫なように、安全・基本第一の指導を進めて行きたいと、先生は抱負を語つて下さった。因みに、開校はオープンの翌週から二月いっぱいの火・金曜日で、土・日は混雑するのでレッスンは行なわないとのことである。また、一・二月の各一回、三級以下のバッジ・テストも実施されるそうである。

その後、担当の方から、最も興味のあった雪づくりの話を中心に伺う。二万四千平米という広い園内にいきなり白い雪が出現する秘密は、氷とスノーガンにあるのだそうだ。十二月中旬のオープン時には、千五百トンの氷を碎き、零下一度以下の場合は、氷と圧縮空気によつて十五台のスノーガンがくまなく雪をまき散らす。氷をダムに確保しておいたり、氷屋さんが休みになるお正月には予め保管しておいたりと、苦労は尽きないようである。スキー場に入るのにお金を払うとは何ともケシカラントかねがね勝手に思つていたのだが、氷一トンが一円、

冬だというのに青空がまぶしい一日、懐かしいケーブルで六甲山に上つた。一気に車で上がつてしまふことの多い昨今、こんなのがんばりした雰囲気も捨て難いのだと、同行の編集部の姉と、ちょっとした遠足気分である。園内に入ると、丁度週一回の「女性の為のスキー教室」が行なわれていて、経験者クラスでは二十人程が、SAJ公認六甲スキー学校の塚本校長先生の指導の下、色鮮かな流行のウェアに身を固め、練習の真最中である。スキーとは若者中心のものと思ひきや、家庭婦人とおぼしき方々がその大半を占めている。更に驚いたことには、講習終了後も二十分程先生を取り囲み、質問攻めで食い下がるという、恐るべき熱心さなのである。後で先生が教えて下さるには、何でも、家族スキーに行った時一番遅れをとつてするのがお母さんで、それを何とか挽回しようと、その後俄然張り切るのだと。『上手になりた

一晩スノーガンを動かす水・電気代が十五万円と聞き、頭の中で数字を並べてみると、あの入場料も妥当だなあと何となく納得させられてしまう。三十八年の開園当初はスノーガンだけであった為、雨や霧に弱く仲々オープニングできなかつたのだが、碎氷機を導入し、五十二年に本格的に敷きつめたプラスチックのお蔭で断熱効果が上がり、雪の持ちが良くなつたとか。一月中旬には雪の状態も安定し、ピークの二月連休時には、何と一日七千人の人出で、その時には貸スキーの行列が入口まで長々と続き、リフト待ちに整理券が出るそうだ。そこまでしてスキーをしたいか? というのが、スキー狂と自他に認める私の正直な感想だが、平日の今日は、そんな想像もつかない程ののどかな風景である。係の方も、平日がやはり空いているし、またスノーガンを動かせる時には夜通し雪

シーズンになると色鮮かなスキーウェアの若者の姿が目立つ



そんな大刀振りかざした感想とは関係なく、眼前は白い雪の世界。神を恐れぬ仕業である人工雪だが、その白さに変りはなく、戸外の心地よい冷気に浸つての斯基は、やはり魅力的である。幼い頃、久し振りに雪の降つたゴルフ場で、長靴をはいて大人のスキーを一本だけかついで上り、カンドゥバーのバックンにしがみついて腹這いで滑つたことが、ふと思いつかれる。まだまだスキ一場通いは止められそうにないなあと、はしゃいだ声の溢れるバスに揺られ乍ら、小さく溜息をついた。

を作るの、朝は新雪で本場以上の雪質ですと、胸を張つて勧めて下さる。開園から十年以上経ち、随分工夫を凝らして来られたようだが、それでも、シーズン・インと三月中旬の終了時の見極めは難しいそうである。シーズン中はひたすら雪の確保に努め、天気予報と空模様に一喜一憂の毎日だとか。また、ここはやはりビギナーを中心で、リフトの速さもゆっくりするといった配慮をしているのだが、近年大衆化してきて、マナーの低下が目立つようだとおっしゃる。リフトの割り込みや、ゲレンデ中央で立ち止まつたり登つたりといったことは、どこのゲレンデでも混雑してくると目立つ現象だが、電車に乗る際降りる人を待つてからという心遣いと同様、見ず知らずの他人を念頭に置いて動く、という基本的ルールは、スキーというレジャーの場でも勿論通用すべきことだと、自戒を込めた感想を抱く。

# 青少年

## なんでも電話相談

橋本 明 ▼社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▼

最近、電話による相談活動が増えてきた。心の悩みを聞くだけでなく、交通情報や生活情報、また行政に対する苦情や注文など何でも電話で相談に応じてもらえるようになった。電話による人生相談のようなものはかなり

前からテレビやラジオなどでもはじめられており、東京や大阪など全国九ヵ所の「いのちの電話」にも数多くの人たちからさまざまな悩み事が寄せられている。

国鉄三ノ宮の南、神戸新聞会館の東にある神戸市青少年会館のなかにもこの七月から「青少年なんでも電話相談」が始められたので、十月下旬に、相談室を訪問し開始以来三ヵ月間の状況をお聞きしてみた。

七月から九月までの三ヵ月間に受けた相談は三四四件で、一日に約五・六件の電話がかかってくる。中学生と高校生からの相談が全体の約六割近くを占め、小学生からの電話も一五%ある。その他大学生九%、労働者一三%、不明九%となっている。相談者は青少年自らがかけてくることがもっと多いが、小・中・高校生の場合はその子どもたちの親、特に母親が子どものことで相談をもちかけてくることが多いようである。

電話による相談時間は平均二十二分ほど。相談内容は性に関することが最も多く、他に自分のからだのこと、性格、家族のこと、異性のこと、学業の悩み、しつけ、友達、非行、職業、進路など多岐にわたっている。

具体的に事例をあげてみると、

人と話すのが苦痛（高一・女・本人から）

父の財布から一万円とった。怒ったら家出（中二・男・

母親から）

難治性てんかん（小一・女・母親から）



青少年からの電話に答える相談員の津久井幸子さん

包茎（高三・男・本人から）

マスター・ベーシヨン（中三・男・本人から）

性器が小さい（中二・男・本人から）

両親の不和で不良化した（高二・女・叔父から）

強姦された（高三・女・母親から）

男友達のことで叱ると家出した（勤労者・女・母から）

妻子ある人を好きになった（勤労者・女・叔父から）

母は看護婦。二才の弟の子守のこと（小五・女・本人から）

塾をやめたい（中二・男・本人から）

朝、学校へ行く時吐き気や下痢（中一・男・母親から）

女子中学か、公立中学かで悩む（小六・女・本人から）

会社を辞めたい（勤労者・女・本人から）

このよう相談を受けて、電話では解決できないよう

な問題は本人や家族を含めて直接指導をし、また他の専

門機関の援助が必要な場合は、たとえば、教育研究所、

児童相談所、県警のヤング一一番、青少年補導センターなどを紹介してそちらへ相談してもらうようにしている。

ところで、この電話相談を受ける相談員は七名で、一



新しく建設された青少年会館

★青少年なんでも電話相談（無料）

開設時間 午前十時～午後四時

（日・月・祝日を除く）

TEL（078）232-1188

青少年の悩みの良き窓口となるこの電話相談室をこれからも気軽に利用してほしい。

日二名ずつが交代で担当している。いずれも人生経験豊かな婦人で、婦人大学を卒業した人、カウンセラー、以前電話相談をしていた人など。毎月第一月曜日には事例研究を行ったり、隨時専門家による研修も重ねている。相談員の一人、津久井幸子さん（50）はこの相談室の他に、週一回婦人会館にある「お母さんの電話相談室」の相談員も兼ねている。

「どんな問題でもかまいませんから、恥ずかしながらずにはんてん相談をもちかけてほしいと思います。ただ、いたずら電話は困ります。声の調子や話し方でいたずらかどうかはすぐわかりますので、そういう時はビシッと切ります」という。

青少年の心の悩みといふと、職業の選択や将来の人生設計に関することが多いのではないかと思つていたら、セックセスのことが多くてとまどつてゐるんです、という声もあるが、誰にもいいにいく個人的な事柄であるだけに、電話という匿名性を利用して話をしやすいのであろう。東京の「ダイヤル避妊相談室」には毎年一万五千件もの電話がかかってくるというから、性の問題についての悩みがいかに多いかがうかがえる。

電話相談だけで問題がすべて解決できるとは思われないが、電話で悩みを訴えているうち問題のありがが自分自身でも整理され、アドバイスしてもらえることが少しでも心の支えになれば電話相談の意味は大きい。

# F A S H I O N

## 神戸靴でお洒落に凝る

吉岡 潔社長に聞く



「ハイカラ神戸を意識している」と吉岡さん

通称“はき倒れの街”神戸の人は、お洒落の総仕上げともいえる靴に凝る人が多い。またそういう人たちのためのイイ靴屋も多い。その中でも老舗、大丸前にあるヨシオカは大きなガラス張りのウインドウに靴が並んでいて、通る人を楽しませてくれる。今月はヨシオカの社長吉岡潔さんに“はき倒れ”的話を伺った。

——改装されて広くて明るくなりましたね。

吉岡 九月に新装オープンしたのですが、紳士服と婦人靴とに分けて、両面の融合性に苦心しました。そして神戸らしいムードを出せるようにと設計には特に注文をしました。昔からいわれる、クラシカルモダンを基調に神戸らしさを強調いたしました。

——ヨシオカは最初はどういう形でスタートされたのですか。

吉岡 大正十三年に、父が神戸で始めたのですが、最初



は紳士靴からです。当時から

ある靴屋はほとんどそうなんですよ、まだ婦人方は洋装が少なかった時代ですから。

——その頃、靴はどこから仕入れておられたのですか。

吉岡 全部自家製で作っていました。十四、五人の職人さんが、一つ一つ手造りで技術を競い合っていました。その頃から神戸の靴は定評があつて、はき倒れの町なんていわれ出したのです。父も天皇陛下に献上の栄に浴したことがあります。

職人さんたちの手造りの靴は現在も続いていることがあります。

でも後に続く人が少なくなり、ヨシオカとしては何とか残していきたいとは思っているのですがね。

三十年代の後半から輸入品に力を注ぎました。スイスのパリー社からが最初でした。パリーの靴が日本に入ってきたのもその頃からじゃないですか。

——日本人の体型は輸入靴がぴったりというわけではな
 いですし、それはそれで大変だったでしょう。

吉岡 サンプルの製品を見て、それをそのまま入れても駄目なんです。日本人の体型に合った木型を作つて、そ
 れに合わせて作つて貰います。

最初の頃に比べると日本の靴の技術も進歩しましたが

まだ輸入靴にいえるのは「消費者に親切な製品」が多いということですね。デザインだけでなく例えば金具の取り付けや縫製など、とても細やかな配慮があります。

——パリーを始めた頃と比べてお客様はどうですか  
吉岡 やっぱりパリーが知られてなかつた頃は、何と高い靴や、なんて思われていたようですが、最近は伸びてますね。いい物はいいと分つて下さる方が多くなつたからだと思います。ただ残念なのが、まだ靴の輸入は規制されているんです。ですからこんな靴が欲しいといつてこられても入つていいのがあるんですよ。

——今、扱つておられるブランドは?

吉岡 紳士物ではパリー、テストニ、モレスキ、ゼニスなど婦人物で、やはりパリー、バッカリ、タベルナ、ブッケリー。パリー以外全部イタリアの靴のメーカーの物です。デザイナーの靴もありますが、やはり靴は靴専門のメーカーの物でなくちや駄目ですね。はき心地日本人に合つた型となるとファッショニ性だけです。靴は今でもデザイン、技術とともにイタリアが最高だと思いますよ。

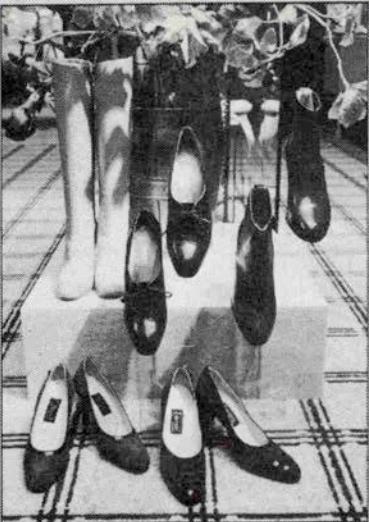
——さて、この大丸前本店も改装で綺麗にされましたしもうすぐ六十周年ですが、これからの方針というと。

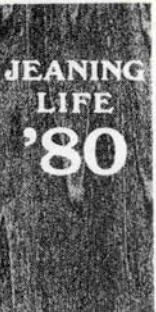
吉岡 何となく古い店の仲間に入つてきましたが、古くささというのは絶対イヤですね。昔から神戸というとハイカラでモダンだった。神戸らしさはいつも意識しています。

そしてファッショニですから時代の流れで変わるのでですが、ヨシオカの底流は同じだと思います。いつも良い商品を扱つて目先で変えていくということはしたくない決して妥協できない所つてありますからね。素材、デザインともに重点を置いた品質主義を守つていきたいですね。いい物を置いていると、お客様も必ずわかつて下さいますね。

——最後に、東京にも七店舗おありですが、神戸のお客さんに、神戸らしいなというところを感じられますか。

吉岡 神戸のお客様のファッショニ性は高度だと思います。特に「はき倒れ」の伝統のせいか、男性も女性も、足元だけはすごく凝つていい物をとる方が多いようですね。





JEANING  
LIFE  
'80

<4>

# ×マスにウエスタンを贈ろう

森 秀明

（関西学院大学経済学部1回生  
学生ミニコミ集団「ファンシー・ファクトリー」メンバー）

岩崎 和子

（ジョイント3F／「ウエスタン・ツール」コーナー）



いろんなお洒落が楽しめるバンダナ

キャンバスでも熱いウワサの  
ウエスタン・ファッショ

岩崎 いまキャンバスで、人気の  
あるファッショ

森 プレッピートウエスタンの合

作みたいなのをよく見かけるなあ

例えはファッショングーンズにウ

エスタンブーツ、それに細手のウ

エスタンベルト。上はマウンテン

パークーかダウンジャケットって

いうスタイルが流行ってるね。最

近ウワサの「アーバン・カウボー

イ」の影響かな、ウエスタンの風

がキャンバスにも吹いてるよ。

岩崎 ファッショ

ンに敏感な「キ

ヤンバスカウボーイ」をグーンと

ひきたるのが小物たち。テンガ

ロンハット、バンダナ、ボローラ

イ、ベルト、バックル、ベルトボ

ーチ、ジップボーライター、キーホルダー etc。西部の男たちが使っていたから、どれも実用的で頑丈ね。小物に凝るのは本当の“男のおしゃれ”なんでしょうね。

森 そうだねえ。例えはブレーン

のウエスタンにするのも楽しいと思うなあ。もうすぐクリスマスだけどプレゼントにも最適だね。

岩崎 森君、ガールフレンドに贈るのならハンドメイドのインディアンジュエリーはいかがかしら。

ターコイズとシルバーの組み合わせが素朴で手づくりの暖かさが伝わってくるみたいでしょ。

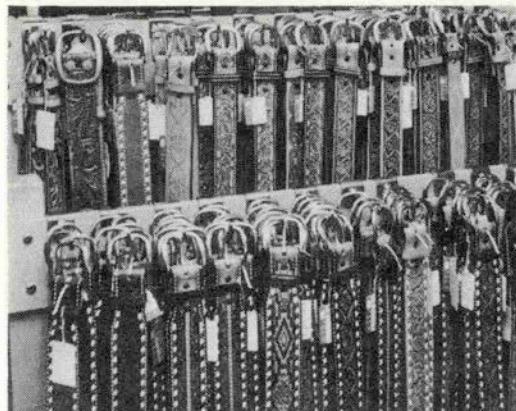
森 リング、ブレス、ネックレスなど品数豊富に揃っているから、選ぶのが楽しいね。

岩崎 ウォールマスクのようないークなものもあるからじっくり

考えて。インテリアに可愛いインディアン人形や儀式人形を飾るとお部屋にもウエスタンの風が吹いてくるから不思議。

森 クリスマスの贈りものはウエスタンツールに決めた！





上／ベルトはファッションのきめ手。ジョイント3Fに品数豊富に揃っています。下／ウォール・マスク1,800円より。愉快な顔をお部屋に置いたら何となく楽しい気分。右／ジョイントのシェリフになりきった森秀明君。ピストルの構え方がカッコいいですね。右はインディアン人形を手にした岩崎和子さん

ジョイント  
ジーニング・ライフ・ストア・ジョイント  
岩崎和子さん



自然派講座 II  
栄養補助食品の話

現代は“一億総半健康人時代”と言われています。その原因是運動不足と食生活（栄養）にあるそうです。でも、運動不足はともかく、食物の質量とともに豊かになった現代において、食生活（栄養）に問題があるというの、ちょっと不思議な気がします。

たぶん、食品の種類も量も豊富にありすぎるために、摂るべき栄養の含まれる食品を選びきれないという現象が起きているのです。その結果、栄養のバランスを失い、栄養が片寄り、そのせいで血色が悪く体が疲れやすい、とか、抵抗力が弱まり病気がちの体質になつていくのです。

栄養のバランスを考えることとそれは、食物の豊かな現代であればこそ、大切なことなのです。



すらり並んだ栄養補助食品

植物性プロテイン——植物性プロテインというのには大豆や小麦から精製した、植物性たんぱく質のことで、特に大豆に多く含まれているレシチンは、血管や心臓を若らせる高血圧を防ぐといわれます。粉末になっているものは水やお湯に溶いて飲みます。

ナチュラルハウスではこのほか高麗人参、梅肉エキス、ローヤルゼリーなどおよそ150種類の栄養補助食品を揃え、専門家の資格を持つスタッフが貴女のօいでをお待ちしています。

## ナチュラルレター (3)



**Natural House**  
ナチュラル ハウス 神戸店  
元町1番街 078(392)3661  
年中無休・10AM~7PM

さて、今回のナチュラルレターは、栄養補助食品について。欠乏している栄養分を補う、栄養補助食品をいくつか紹介します。

クロレラークロレラは、太陽をいっぱいに受ける培養槽で育てられた単細胞の淡水藻です。この藻を遠心分離、乾燥、粉末化し、飲みやすい粒状にしたのが商品としてのクロレラです。その特徴は、ビタミン、ミネラルをきわめて豊富に含む、高たんぱく質食品であることです。そのため、健康食品として注目される前に宇宙食として各国で研究、開発されてきました。

紅花油——動物性油脂に多く含まれる飽和脂肪酸がコレステロールを生成し動脈硬化の原因をつくるのに対し、リノール酸に代表される

ビタミンEには、血管を若く、弾力あるものにし、皮膚をいきいきとさせる栄養効果があります。コレステロールと結合して動脈を硬化させる過酸化脂質の生成を防いでくれるのです。



売場担当の渡辺・谷口・中林

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

&lt;神戸のファッション都市化をめざす&gt;

事務局／神戸市中央区東町113-1

月刊神戸っ子内TEL (078) 331-2246

## ●10月マンスリーサロン

## ワールド研修センター

## 素晴らしい設備と環境にビックリ

10月24日、念願のワールド研修センターを見学。布引にある9階建て、一体ここで何してののかなーと長い間気になっていたものです。気になっていた人は多かったみたい……実に画期的な出席率がありました。いつも出席者が同じ……とかちっとも出てきてくだらないと悲嘆に暮れていた理事たちの、この日程明るい表情は稀では、とまあ、そういう魅惑の研修センターですが、その実態のご報告。

ご案内くださったのは教育課課長の小島登陽子さん。お洒落で知的で素敵なお嬢さん。2~3階は会議室、オーディオ・スライド設備が完備され、フムフム市の教育会館以上の設備なのであります。4~8階は一流ホテル並の宿泊所。なんと8階にはサウナまであるのです。凄いなあと見学者たち恐れ入ってヒソヒソ声。

やがて9階最上階の食堂兼休憩室へ案内され、そこで三宮の夜景を眺めながら研修の内容など伺ったのです。

ワールドの製品を

売っている全国の直営店の方たちの研修を目的として作られており、今までに約1,000人の人たちが3泊4日の課程を修められたとのこと。お客様への対応から商品知識、发声練習、夜の親睦パーティまで流石よく考えられたプログラム。中級上級の課程もあるときいてみんな参加したような表情でしたが、残念ながらワールドの直営店(全国津々浦々にあるそうです)の人以外はまだ馴染みません。

小島さんやワールドの秘書室からわざわざ駆け参じてくださった平尾実さん、それにビールと美味しいオードブルのおまけまであって本当にありがとうございました。



小島登陽子さん

## ★浦野年彦さん(アトリエCR)

## 第1回目コレクション



11月15日、神戸外国俱楽部で、浦野さん会心のコレクションが行なわれた。東洋紗の嘱託で神戸ドレメの講師もしながら“作りたい”ものを“作りたい”ように作ったものばかり。朝のニューヨークと、雑誌のグラビア頁のサラダからの発想という作品たちは、鮮やかで爽やかな色の使い方が印象的。神戸の色というイメージだ。

ディレクターが朝日放送の中川利久さんというのもまさに「会心」のコレクションの発表。

今回は来春夏物だったが、できればこれからは年に2回ショウを開きたいと意欲満々の浦野さん。

## ★クリスマスパーティー'80

日時／12月20日 6時半より

場所／元町嵐月堂地下ホール 会費／6,000円

食べて飲んで踊ってファッションショーをして…という恒例我らの豪華なパーティーです。お洒落をしてのご参加を。

## ★タキシードパーティーⅡ

日時／12月6日 6時より

場所／神戸外国俱楽部

会費／10,000円(ディナー付)

フォーマルファッションのパーティーです。男性はタキシード、女性はロングドレスでメリーグリスマス。参加ご希望の方はKENTの田中さんまで。

写真はファッションショーより

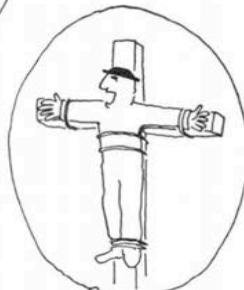
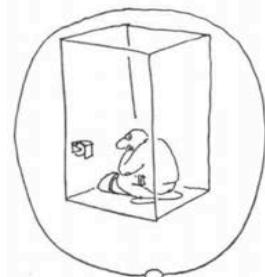


★パントマイムジュンズⅡ

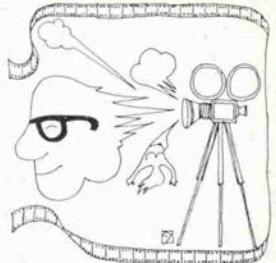
# 愛すべき隣人たち

岡田 淳





● ふらつしゅ ● ばつく ● (2)



# フェリーニと安部公房を見る

淀川長治

（映画評論家）

フェリーニ監督の「カサノバ」（一九七六）をまた見た。

また見たということは、これを三年まえ、ニューヨークで見たからである。そのときの劇場は静かな落着いた劇場であった。それでも五人ばかりの下町の兄さん連中が「カサノバ」というわけでポルノ映画のつもりで見にきたらしく初めは声を立てて笑っていたのだが、やがて静かになつた。フェリーニの（美術）に圧倒されて笑いが止まつてしまつたらしい。

フェリーニのこの「カサノバ」は全巻これまつたく美術ショウのごときものなのである。

この「カサノバ」を扱つた映画は実は昭和五年に、なぜか「ロベルト」という邦題で東和の配給をもつて日本公開されたことがある。それはフランスのシネ・ロマン社の一九七二年の作品でそのときのカサノバにはイワン・モジュヒンが扮していた。監督はアレキサンドル・ヴォルコフ。もちろんまだフランスではサイレント映画末期のころである。昭和五年の日本といえばドイツ映画の「アスファルト」や「帰郷」が封切られていたところである。そしてこのイワン・モジュヒン主演のカサノバ映画も当時のことゆえカサノバ艶情史とも称するおおまじめなコスチューム・プレイであった。私の印象はこの映画のファースト・シーンの花火のところだけである。どうもたいたした映画ではなかつたと思う。

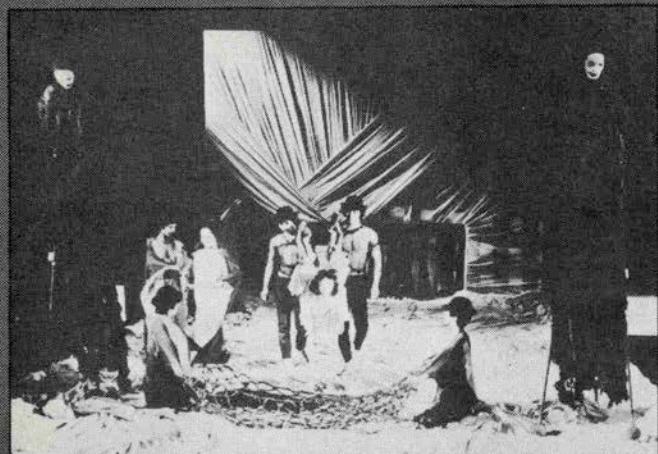
さてフェリーニの「カサノバ」は、ぞきのぬれ場、なみいる見物のなかでの二台の寝台における競争、老女との行いに困つたカサノバが若い女を目前にはべらせその

若い女の肉体のうごきを見つつ老女とコトをします…といつたポルノごのみの連続でありながら、その舞台セットその男女の衣裳、それよりもカサノバ（ドナルド・サンザーランド）はじめ登場者すべての俳優のマイキヤツプを凝りにこり日本でもうせばあの写楽の芝居絵の面白さをしのばせた。

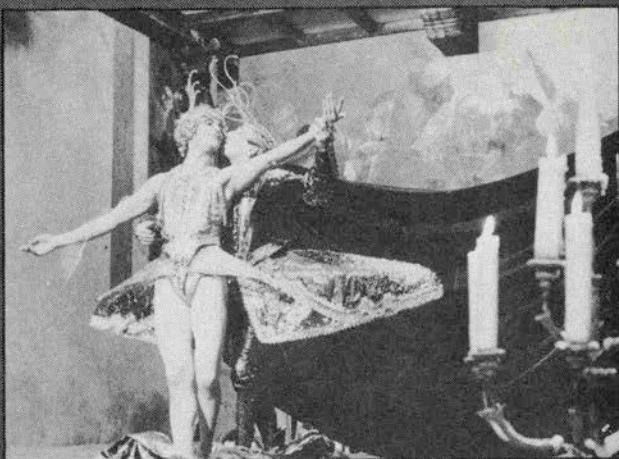
ジョヴァンニ・ジャコモ・カサノバ（一七二五—一七九七）。イタリアのベニスのプレイ・ボーイ。ローマ、ナポリ、イスラスと女をあさり、ベニスの牢獄にほりこまれ、それを脱出した、その彼の長篇（回憶記）をフェリーニも映画にそれを移しつつも、しかもフェリーニのカサノバ映画にしをわせた。二時間三十四分さながら舞台の美術ショウを見る華麗。もちろん音楽はニーノ・ロータ。そして撮影は「サテリコン」のジョゼッペ・ロトウソノである。

カサノバはつねに小箱を持ちそのなかに黄金の鳥を入れている。そしていざのときその鳥を枕べに置くのだが、カサノバの性愛がみなぎつてくるやその鳥は金の翼をバタバタとひろげ首を左右にふりその首は長く伸び立ちみしはじめる。まことにエロティックである。そのエロティックを十八世紀の時代色に塗りこみ、さらにフェリーニどくとくの幻覚美のなかに誇いこむ。

イタリアはイタリアン・リアリズムを生んだ国なのにそのいっぽうフェリーニのようなアンタジストを生んだのはイタリアがオベラの国であり仮面劇の国であるところからフェリーニのような幻覚美術映画作家が出たの



安部公房の「仔象は死んだ」



フェリーニの「カサノバ」

であろうか。

×

安部公房が脚本、監督、音楽まで担当した五十四分の「仔象は死んだ」（一九七九）を見る。前衛劇である。私は若い人たちがよくこの（前衛劇）なるものを上演しているのを半ば覚悟して見物にゆき途中にいたり逃げだした苦い経験がある。前衛はよほど根がしっかりしておらぬと駄目だ。ところが本物となるとショックを受ける。

このショックは（発見）と（純粹）の楽しみに酔えるというショック。アメリカ人でフランスで名をあげた前衛映画作家マン・レイの「ひととで」（一九二八）やフランスのジエルヌ・デュラック女史の「貝殻と僧侶」（一九二八）などがそれであつた。またモダン・ダンスのアメリカのマーサ・グラハムの前衛舞台を見ているときに受けるショック。

これを私は安部公房の「仔象は死んだ」に衝撃ともいいたい感激をもつて受けたのであつた。テーマは人間であり人間永遠の悲劇であり人間が人間を裁く悲劇であるとつてもいいが、この五十四分は舞台美術の陶酔それにつきる。ダンスであり詩でありマイムであり動く絵画であり（光）と（色彩）とのメロディと見てもいい。

舞台一面の大きな敷きつめた白布がありとあらゆる形（動く形）を見せる。それは波のうねりとなり海底となり白雪にも白い雲の動きにも変化する。美術は安部夫人の手になるのだがこれがニューヨークの舞台の前衛劇をはるかに越えるばかりである。アメリカ各地を上演し絶賛を受けたというのは当ぜんである。

これは映画として作られたものでなく舞台上演をそのままビデオにとった十六ミリである。東京では西武百貨店の劇場で公開上映されるそうだが、神戸でも上映を持ちたいものである。